

3類型	鋳工業品	通巻番号	5-19-032
地域資源名	ねじ	認定日	平成20年2月8日
地域	大阪府東大阪市	所管省庁	経済産業省

事業名：溶接接合に代わる構造用大径ドリルねじの製造・販売

会社名：ケーエム精工株式会社

所在地：大阪府東大阪市吉田本町1-10-16

連絡先：TEL：072-966-4466

H P：http://www.kmseiko.co.jp/

FAX：072-966-6677

事業概要(新たな活用の視点)

- ・東大阪地域は、ねじ製造の地場産業であるだけでなく、ねじ製造に不可欠な周辺技術である線材加工なども集積している。
- ・現在ねじの生産額は、平成13年度の約194億円が平成17年度には約156億円に減少している。
- ・その様な中、建築用ねじの中で「ドリルねじ」は、日本製品が世界シェアの70%以上を占めており、今後も国内市場は拡大傾向である。
- ・本事業では、業界(日本ドリルねじ協議会)で規格化した建築用大径M8(ねじ外径が8mm)ドリルねじの開発を行う。



【ケーエム精工のねじ】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・M8大径ドリルねじは、認可を受けるために切削加工で試作した例はあるものの、圧造加工によりドリル刃形状を実現したのはケーエム精工が初めてである。また、金型技術を生かして、ねじ込み時間が規格の90秒以下をはるかに上回る性能を実現した。

◆市場性

- ・ドリルねじの主な用途は、住宅、建築等外壁材、屋根、内装材、配管の締結であり、構造用以外に用いられている。
- ・今回認可された工法では厚板H型鋼などの構造物への接合が可能となり、更なる高層建築へドリルねじが使われるものと考えられる。

◆販路

- ・全国のプレハブ住宅メーカー向けに従来の販路を活用して販売を行う予定。
- ・M8ドリルねじ採用により、手が廻らない部分に片側締結できるメリット、作業性の改善、溶接に比べて高等技術が不要であることや標準化のメリットを、プレハブ住宅をはじめとする建築・建設ユーザーにアピールし、展示会等も活用してこの工法の拡販を進める。



【M8大径ドリルねじ】

地域資源における関係事業者との連携

- ・東大阪産業支援センター、東大阪商工会議所(産学コーディネーター末浪憲一先生)と連携し、「産学プラス1事業」の1つとして、金型の非接触3次元測定技術を確立する予定。